



# め た せ こ い あ

至 創 努 校  
誠 造 力 訓

島根県立吉賀高等学校 〒699-5522 鹿足郡吉賀町七日市 937  
電話 (0856)78-0029 FAX (0856)78-0742  
HP アドレス <http://yoshika.ed.jp/>

## 吉賀高校体験入学

吉賀高等学校 校長 齋藤雅典

6月16日(火)町内の中学3年生が吉賀高校へやってきました。吉賀高校体験入学です。これは、多くの高校が休日に実施しているオープンスクールとは少し性格が異なる催しです。町内の中学生全員が吉賀高校への進学を希望しているわけではありません。そういう状況の中、3年生全員が授業時間を割いて、吉賀高校へ来るのです。

参加する中学生にとって意義あるものでなくてはならない。これまで中学校の先生方が口にされてきたこの思いを、今年強く意識しました。全国には小学生が中学校の生活を体験する催しを実施している地域があります。小学校とは違う授業を経験し、中学生が真剣に学ぶ姿に接することは、小学生にとって「中一ギャップ」の解消にもつながり、意義のあるものになっているそうです。

吉賀高校の体験入学の日、授業を担当した教員は工夫をこらした授業を行いました。また、この日、中学生が参加した部活動は、普段よりも格段に人数が増えて活気を帯びました。そして、高校生活の説明は生徒たちが行いました。この日の一番重要なポイントは、中学生の前に立つ高校生の姿です。自分たちよりも少し大人の先輩に接することが高校生活への積極的な思いにつながり、中学生の今後の学習意欲が増すような体験入学にしたい、私はそのように考えていました。

学校生活のこと、学習のこと、コース選択のこと、部活動のことなどを6人の2年生が説明しました。また、キャリア教育や地域クラブの活動で学んだ体験を2人の3年生が説明しました。中学生には難しいかな、と思う内容もありました。また、途中でマイクのトラブルもありましたが、生徒たちは動じず、全員が自分の言葉で語ってくれました。確かに中学時代よりも成長した高校生の姿を見せてくれたと、私は嬉しく思いました。

さて、今年度から町内の中学校の卒業生は40人台になります。吉賀高校への入学希望状況がこれまでと変わらず、町外からの入学者もなければ、今後、吉賀高校の入学者数は20人台が続くこととなります。そうすると、活発な部活動ができなくなるなど、次第に学校の活力が失われていくのではないかと心配します。いよいよ、そういう状況を迎えているのです。しかし、危機感の一方で、私たち教員に出来ること、教員が第一にすべきことは、教育を通じた学校の魅力化である、そのようにも考えています。

そういう思いの中、一日体験入学での生徒の姿、そしてそれを指導した先生方を頼もしく思いました。

連絡：吉賀高校のホームページは、<http://yoshika.ed.jp/> に移転しました。



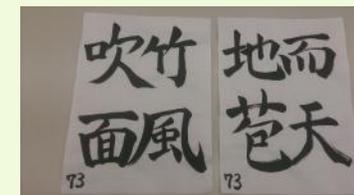
## フットサル大会島根県大会 優勝

第2回全日本ユース(U-18)フットサル大会島根県大会が6月7日(日)温泉津総合体育館にて行われ、吉賀高校サッカー部が出場しました。激戦の結果吉賀高校Aチームが見事に優勝を果たし、中国大会の出場権を獲得しました。中国大会は7月5日(日)に萩市民体育館にて行われます。

## 文化部の活動

### ○文芸部

5月29日(金)、出雲市で行われた「高文連書道コンクール」に参加しました。(今年度、文芸部の活動の一環として書道にもとりくんでいます。)当日は1時間という制限時間の中で、「臨書課題」「創作課題」の2作品を制作しました。参加者数128名という大勢の参加者の中、動じることなく作品を仕上げ、「特選・秀作・佳作」のうちの「秀作」に選ばれました。コンクールの結果以外にも書道に関わる人が県内に多くいることを知ることができ、大きな収穫のある大会参加だったと思います。



### ○美術部

6月4日(木)~6日(土)の2泊3日で、大田市で行われた石見地区美術講習会に参加しました。三瓶山の美しい自然を集中して描くことで、各自が油彩画の腕を磨き、絵を描く楽しさや奥深さを実感しました。講師の先生から指導をいただいたり、他校の生徒の作品を鑑賞したりすることで大いに刺激を受け、有意義な講習会となりました。



### ○写真部

6月15日高文連春季写真コンクールに出品し、講評会に参加しました。吉賀高校写真部からは47点出品し、特選4点(3年1組 高津 静、2年1組 中田帆南、松田あずみ、2年2組 岡本 悠)、入選11点(3年1組 石田梨紗2点、高津 静、松原瑞歩、3年2組 田淵捺姫、2年1組 中田帆南、松田あずみ、2年2組 岡本悠2点、桑原太一、桑原悠菜)という結果でした。特選作品については12月の高校写真展に出品する権利を得ることができました。

【特選作品4点】



## 地域クラブ

6月13日(土)に注連川で行われた「第9回田んぼの生き物調査」に参加しました。会場設営、昼食にふるまわれるおにぎり作り、司会進行、写真撮影、子ども達の生き物調査のお手伝いなど、多くの仕事を任せいただき、ボランティアとして参加した生徒にとっても楽しい時間となりました。



# 島根県総合体育大会結果

## ○サッカー部 キャプテン：小田恭也

5月30日に西部フットボールセンターで、立正大湊南高校と1回戦を闘いました。前半の立ち上がりは相手の攻撃にうまく対応でき、得点のチャンスもありましたが、中盤過ぎから2点取られ、後半も2点取られて、結果だけ見れば0-4の完敗でした。しかし、僕はこの3年間を通して一番成長できた試合になったと思います。相手の技術は高くボールを持たれる時間が長く続きましたが、吉賀高校サッカー部のみんなは気持ちが切れることなく、最後まで身体を張って頑張っていました。



今回の試合は、課題も多く見つかりましたが、次につながる良い試合になったと思います。

【顧問コメント】島根県を代表するチームと対戦し、選手たちが感じた事は多かったのではないかと思います。今回の大会を良い経験、刺激にし、選手権での活躍のために日々の練習を力強く行ってきたいと思います。会場には、たくさんの応援の方に来ていただきました。おかげで選手は湊南の応援にも怯むことなく戦うことができたと思います。ありがとうございました。

## ○女子バレーボール部 キャプテン：佐伯文恵

私達女子バレー部は、6月4日に大社高校体育館で行われた県総体に出場しました。1回戦の対戦相手は出雲西高校で、セットカウント2-0(25-19, 25-15)で勝ちました。2回戦の対戦相手は浜田高校で、セットカウント0-2(6-25, 10-25)で負け、2回戦敗退という結果になりました。出雲西高校戦は、練習の成果を出せてボールを落とさずに拾ってスパイクまでつなぐことができたのが勝因だと思います。公式戦初勝利だったので、これからに向けての第一歩になり、とてもいい経験になりました。浜田高校戦は、技術面で私達よりも上で終始リードされる展開でしたが、しっかりとボールをつなぐこともできたことはいい経験になったと思います。



県総体での経験を生かして、次の大会に向けてチーム一丸となって練習を頑張っていきたいと思います。

【顧問コメント】1回戦は序盤動きが硬くミスから流れを失いかけていましたが、中盤からしっかり拾い丁寧につないでスパイカーに打たせリズムに乗っていくことができました。2回戦は苦しい試合になることは覚悟していましたが、練習で取り組んできたことが発揮できないまま終わる不完全燃焼な敗戦となりました。どの相手にもどのような試合展開でも強い気持ちを持って挑んでいく精神力が足りないと感じました。

今大会で得た公式戦初勝利という自信と、心体技を鍛える必要性を忘れずに今後の練習に励んでいきます。当日は遠方にも関わらず、応援にかけつけていただき誠にありがとうございました。

## ○陸上部 キャプテン：井上雄大

陸上部の県総体は5月29日から31日に浜山公園陸上競技場で行われました。出場種目は、男子100m、女子100m、男子200m、男子400m、男子110mH、女子円盤投でした。女子円盤投は、6位で入賞した結果、6月19日からの中国大会に進出することが決定しました。さらに練習を積んで、挑んでほしいです。記録は自己ベストが出た人、出なかった人といいますが、結果として、満足できるものではなかったため、次の大会に向けて、各自がまだまだ頑張りたいと思います。

部活を3年間続け、つらいこともありましたが、最後まであきらめずにやり遂げることが大切だと実感しました。応援ありがとうございました。

## 【顧問コメント】

井上雄大：男子200m(予選)26秒02 男子400m(予選)57秒82

宇和佐京介：男子100m(予選)11秒99

寺戸光輝：男子110mH(予選)22秒03

新藤成未：女子100m(予選)16秒37

古泓彩：女子100m(予選)16秒02

實吉藍菜：女子100m(予選)15秒45

茅原里緒菜：女子100m(予選)16秒31

澄川結菜：女子円盤投(決勝)26m56



大競技場で緊張感の中で、競技に挑むのは、良い経験となる。この経験を次の大会に各自が生かしてもらいたい。また中国大会へはチャレンジ精神で挑んでいきたい。

## ○ソフトテニス部 キャプテン：兒玉飛鳥

私達ソフトテニス部は6月4日から6日の3日間、浜山運動公園で県総体が行われました。個人戦の結果は、道面・桑原ペアがベスト64に入り、団体戦では1-2で初戦敗退となりました。私は部活に入ってから今までにテニスのことが嫌いになったことがありました。しかし、後輩が部活に入ってくれて、大人数で部活ができることが本当に嬉しくて、今でもとても感謝しています。今までの大会で一番印象に残っているのが、私の部活人生で初めて県の大会でベスト8に入った中国地区予選です。第4シードと初戦あたり、その厳しい状況で勝つことができ本当に嬉しかったです。私にとっての部活とは、自分を高め、仲間と高め合うものでした。2年生は1年と2ヶ月、1年生は2ヶ月、未熟な私についてきてくれてありがとうございました。応援ありがとうございました。



【顧問コメント】雨のため二日目には一試合もない状況で、4月の大会のベスト8の勢いを持続できず、悔しい結果となりました。雨の中、応援に駆けつけて下さった保護者並びに吉高応援隊の皆様、熊谷前教頭先生、本当にありがとうございました。

## 中高一貫教育だより -吉賀地域中高一貫教育事務局(島根県立吉賀高等学校内)-

吉賀高校一日体験入学に参加しました。中高一貫教育コーディネーター 春日亮二  
吉賀高校一日体験入学が、町内4中学校の3年生を招いて6月16日(火)に行われました。視聴覚室で日程説明を受けた後、中学生はあらかじめ希望していた「国語」「数学」「理科」の授業を受けました。吉賀高校の先生から受ける授業は新鮮で緊張感一杯でした。学校説明では高校生がリーダーとなって進行しました。吉賀町の新しい産業についての提案やヒメバイカモの研究についての発表もありましたが「さすが吉高生！」堂々とした態度で発表しました。続く部活動体験では緊張感もほぐれ、思いきり楽しむことができました。吉賀高校の魅力を十分に体験した一日でした。

